



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月30日

上場会社名 東邦チタニウム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5727 URL <https://www.toho-titanium.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西山 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部企画グループマネージャー (氏名) 留場 啓 TEL 045-394-5521
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,973	△23.6	338	△57.1	△298	-	△402	-
2020年3月期第1四半期	10,438	△0.6	789	△30.1	670	△51.6	460	△52.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △382百万円 (-%) 2020年3月期第1四半期 433百万円 (△55.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△5.65	-
2020年3月期第1四半期	6.47	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	89,329	47,451	53.0
2020年3月期	87,118	48,262	55.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 47,320百万円 2020年3月期 48,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	6.00	-	6.00	12.00
2021年3月期	-	-	-	-	-
2021年3月期(予想)	-	6.00	-	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

配当予想の修正につきましては、本日(2020年7月30日)公表いたしました「2021年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,300	△24.2	700	△58.9	△500	-	△700	-	△9.84
通期	35,200	△22.7	2,700	△33.6	300	△91.9	△400	-	△5.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2020年7月30日)公表いたしました「2021年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	71,270,910株	2020年3月期	71,270,910株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	97,951株	2020年3月期	97,951株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	71,172,959株	2020年3月期1Q	71,173,223株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、輸出の大幅な減少や企業収益が急速に悪化するなど、極めて厳しい状況となりました。景気の先行きについても、経済活動の正常化に向けた動きの広がり期待されるものの、感染症が内外経済を下振れさせるリスクを注視する必要があり、不透明感の長期化が懸念される状況にあります。

当社グループの事業については、金属チタン事業において航空機業界の生産活動大幅低下によりスポンジチタンの需要が急減するなど、厳しい経営環境に面しております。

こうした中、当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上高79億73百万円(前年同期比23.6%減)、営業利益3億38百万円(同57.1%減)となりました。経常損益は、昨年10月にスポンジチタンの生産を開始したサウジアラビアの合弁会社に係る持分法投資損失の計上等により2億98百万円の損失(前年同期は6億70百万円の利益)、親会社株主に帰属する四半期純損益は4億2百万円の損失(前年同期は4億60百万円の利益)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

金属チタン事業

当第1四半期連結累計期間における金属チタンの販売については、半導体用途向けは堅調であったものの、新型コロナウイルス感染症の影響等により航空機向けが落ち込み、一般工業向けも低調であったことから、全体としては前年同期を大きく下回る水準で推移しました。

スポンジチタンの生産に関しては、需要の減少を受け国内拠点において2020年5月より減産する操業体制としました。

また、原料となるチタン鉱石価格は高止まりが継続しております。

こうした状況のもと、同期間の金属チタン事業は、売上高は40億25百万円(前年同期比44.2%減)、営業利益は29百万円(同94.7%減)となりました。

触媒事業

当第1四半期連結累計期間の触媒事業の販売については、主要製品であるプロピレン重合用触媒の市場において、自動車用途向けポリプロピレンの需要に弱さが見られたものの医療用途向けが好調に推移したことのほか、前年同期において販売が一部第2四半期にずれ込んでいたこともあり、前年同期に対し増販となりました。

こうした状況のもと、同期間の触媒事業は、売上高は15億58百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益は5億43百万円(同42.7%増)となりました。

化学品事業

当第1四半期連結累計期間の化学品事業の販売については、主要製品である超微粉ニッケルに関して、車載向け等の需要減速の影響はありましたが、スマートフォン販売不振により需要が減退した前年同期との比較では増販となりました。

こうした状況のもと、同期間の化学品事業は、売上高は23億90百万円(前年同期比23.4%増)、営業利益は5億24百万円(同13.5%増)となりました。

セグメント別連結売上高

(単位：百万円)

区 分	2021年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減率
金属チタン事業	4,025	7,219	△44.2%
触媒事業	1,558	1,281	21.6%
化学品事業	2,390	1,936	23.4%
合 計	7,973	10,438	△23.6%

セグメント別連結営業利益

(単位：百万円)

区 分	2021年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	増減率
金属チタン事業	29	554	△94.7%
触媒事業	543	380	42.7%
化学品事業	524	462	13.5%
全 社 費 用	△758	△608	—
合 計	338	789	△57.1%

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金等の減少はありましたが、たな卸資産、固定資産の増加等により、前連結会計年度末比22億10百万円増の893億29百万円となりました。

負債の部は、短期借入金等の増加により、前連結会計年度末比30億21百万円増の418億77百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上や配当金の支払い等により、前連結会計年度末比8億11百万円減の474億51百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の55.2%から53.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月8日に公表いたしました「2020年3月期決算短信」において、2021年3月期の業績予想に関しては未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、当連結会計年度の業績予想を下記の通り算定しております。

また、同様に未定としておりました2021年3月期の配当予想に関しては、業績予想を踏まえ1株当たり12円（中間配当6円、期末配当6円）といたしました。

詳細につきましては、本日（2020年7月30日）公表の「2021年3月期の連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、第2四半期累計期間の業績予想及び通期連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は様々な要因により予想と異なる可能性があります。

2021年3月期業績予想（連結）

（単位：百万円）

	第2四半期 連結累計期間	通期	(参考) 前期（2020年3月期）
売上高	16,300	35,200	45,509
営業利益	700	2,700	4,068
経常利益	△500	300	3,716
親会社株主に帰属する 当期純利益	△700	△400	2,359

※前提となる為替レートは、第2四半期以降 105円/US\$と想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,641	2,764
受取手形及び売掛金	7,455	5,499
電子記録債権	49	40
商品及び製品	12,696	15,493
仕掛品	6,073	5,802
原材料及び貯蔵品	5,905	7,118
未収入金	2,993	2,587
その他	685	873
流動資産合計	38,502	40,179
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,414	12,295
機械装置及び運搬具(純額)	19,836	20,016
工具、器具及び備品(純額)	200	192
土地	2,219	2,219
リース資産(純額)	3,193	3,065
建設仮勘定	2,861	4,062
有形固定資産合計	40,725	41,853
無形固定資産		
ソフトウェア	136	154
ソフトウェア仮勘定	764	853
その他	44	43
無形固定資産合計	945	1,050
投資その他の資産		
投資有価証券	6	6
関係会社株式	3,731	3,180
繰延税金資産	2,392	2,300
退職給付に係る資産	82	80
その他	733	679
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	6,944	6,245
固定資産合計	48,616	49,149
資産合計	87,118	89,329

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,450	2,170
短期借入金	19,581	24,181
リース債務	524	511
未払法人税等	380	52
賞与引当金	962	284
役員賞与引当金	92	0
その他	2,134	2,455
流動負債合計	26,125	29,655
固定負債		
長期借入金	8,823	8,428
リース債務	2,748	2,628
資産除去債務	1,158	1,164
固定負債合計	12,729	12,221
負債合計	38,855	41,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,963	11,963
資本剰余金	13,022	13,022
利益剰余金	23,721	22,892
自己株式	△76	△76
株主資本合計	48,630	47,801
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	△422	△430
退職給付に係る調整累計額	△88	△50
その他の包括利益累計額合計	△501	△481
非支配株主持分	133	131
純資産合計	48,262	47,451
負債純資産合計	87,118	89,329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	10,438	7,973
売上原価	8,134	6,193
売上総利益	2,303	1,780
販売費及び一般管理費	1,513	1,441
営業利益	789	338
営業外収益		
為替差益	—	19
物品売却益	4	3
受取技術料	—	8
その他	8	6
営業外収益合計	12	37
営業外費用		
支払利息	42	38
為替差損	63	—
持分法による投資損失	—	624
その他	24	11
営業外費用合計	131	675
経常利益又は経常損失(△)	670	△298
特別損失		
固定資産除却損	1	3
特別損失合計	1	3
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	669	△302
法人税、住民税及び事業税	38	8
法人税等調整額	170	91
法人税等合計	209	100
四半期純利益又は四半期純損失(△)	459	△402
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	460	△402

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	459	△402
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	—	△9
為替換算調整勘定	△23	△4
退職給付に係る調整額	△2	5
持分法適用会社に対する持分相当額	—	29
その他の包括利益合計	△26	20
四半期包括利益	433	△382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	434	△381
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響を含む先行きの見通しについて、当第1四半期末においては前連結会計年度末時点の仮定に重要な変更を行っておらず、金属チタン事業において当年度中は需要が低迷し、化学品事業における販売は年度前半減少するもののその後回復するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見直しを行っております。

なお、不確実性の高い上記仮定に変化が生じた場合には、当連結会計年度の当社グループの財政状態、経営成績に影響が及ぶ可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,219	1,281	1,936	10,438	—	10,438
セグメント間の内部売上高 又は振替高	366	—	3	369	△369	—
計	7,585	1,281	1,940	10,807	△369	10,438
セグメント利益	554	380	462	1,398	△608	789

(注) 1.セグメント利益の調整額△608百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	金属チタン 事業	触媒事業	化学品事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,025	1,558	2,390	7,973	—	7,973
セグメント間の内部売上高 又は振替高	417	—	1	418	△418	—
計	4,442	1,558	2,391	8,392	△418	7,973
セグメント利益	29	543	524	1,097	△758	338

(注) 1.セグメント利益の調整額△758百万円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2.セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、2020年4月1日付で、事業分野・事業特性の違いを踏まえ、従来の「機能化学品事業統括本部」を廃し、「触媒事業部」及び「化学品事業部」を置きそれぞれ独立して事業運営する組織変更を行っております。

本組織変更に伴い、当四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「金属チタン事業」「機能化学品事業」から、「金属チタン事業」「触媒事業」「化学品事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後のセグメント区分に基づき作成したものを記載しております。